

令和7年1月24日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム ひなたぼっこ・向横田

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和7年1月24日（金）

開催場所：ひなたぼっこ・向横田

出席者

（人数）

利用者	1人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	0人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			4人

【行政からの連絡事項】

- ・インフルエンザが流行しています。コロナ等の状況はこの運営推進会議の様な会議に参加した時に聞いたりしての把握となっています。

ホームの近況・取り組み（令和6年11月19日～令和7年1月24日）

【入居者状況】

- ・入居者 9名（女性 9名）
- ・入退去 なし
- ・平均年齢 86.7歳
- ・平均介護度 2.1

（介護度1－6名 介護度2－1名 介護度4－1名
介護度5－1名）

- ・入院 なし

【活動状況】

調理(もやし根取り洗濯干し、洗濯たたみ、散髪、
ドライブ(益田市内、ゴミ捨て)、歌(嚙下体操)、早口言葉、名前書き、誕生日会
散歩、マッサージ、テレビ体操、お盆拭き、足上げ運動、立ち上がり運動、牛乳
パック切り・束ねる、トランプ、袋たたみ、落とし紙折り、台拭き、足のマッサージ、
塗り絵、シーツ交換、ネーム貼り、家族様と電話で交流、新聞折り、読書、手すり
消毒、新聞ゴミ箱折り、紙ちぎり、紙切り、廊下往復、
指体操、ラジオ体操、畑仕事、口腔体操、面会、ゴミ捨て、モップかけ、居室掃除、
廊下掃除、居間掃除、布切り、布たたみ、縫い物、日光浴、電話、荷物運び、食器
洗い、新聞折り、包装紙たたみ、ペーパーたたみ、利用者様同士の団らん、お経、
じゃんけん、外泊、(年末年始)外出

家族・地域との関係

- ・日頃から散歩で出会うと声をかけてくださる。
- ・家族様から野菜を頂く。
- ・電話でのやりとりを行う。
- ・面会、外泊の実施
 - *研修 (内部) 看取りの研修
 - *研修 (外部) 今後の生産性向上に向けた介護テクノロジー等の活用について

ヒヤリハット 事故報告

なし

その他

※看取りについて

ホームより

- ・看取りの方が 1 名おられ、そのための対応として記録がすぐ出来る様に別に設置したりと対応している。

有識者より

- ・ここで看取りは出来るのですか。

ホームより

- ・出来るが率先しては行っていない。入居時にも看取りについて説明はしているが、割と後から最後まで看てもらえると思ったと言われる家族もいます。

有識者より

- ・看取りとなると職員の方も大変なのでは。

ホームより

- ・毎回入居者の方によって状況も変わるので大変ではあるが、なるべく家と同じ様にと努めて対応させてもらっている

※その他。

ホームより

- ・最近グループホームに入る方が減っている。特養に入り易くなったり、まだ家でと言われたり。

行政より

- ・言われるように早いうちに特養へとなっている事はありますね。

ホームより

- ・グループホームも重度化もやむなしと考えている流れもあるが、その為には入浴を例にしても機械を取り入れる事も方法の一つだが、それも一長一短あるのでグループホームとして必ず良いことになるとはかぎらないと考えます。

有識者より

- ・痰吸引とかの対応は？

ホームより

- ・医療行為となるのでグループホームではできないです。家族にも伝えてはいます。

ホームより

- ・介護も人材確保が難しいが介護のイメージがやはり良くない状況があるのでは？

有識者より

- ・私も自分の父が介護が必要になってきた事がきっかけでようやく知識を得るようになりたいです。